



ニュースレター8月号は、「裁判と証拠」です。裁判のプロである弁護士が、裁判に勝つ確率を高める方法を簡潔にお伝えします。



1 裁判所は書類を極めて重視すること

裁判所は、書類を極めて重視します。書類があれば、原則として書類通りの判断をするといってもよい位です。契約書・請求書・領収書・写真等、書類をきちんと整えましょう。また、今からでも準備できる証拠があれば証拠を準備しましょう。

2 裁判所は第三者の証言を重視すること

裁判所は残念ながら、事件の当事者の証言を余り重視しません。重視するのは当事者と利害関係の少ない第三者の証言です。例えば、交通事故の目撃者は通常交通事故の当事者と利害関係はありませんので、目撃者の証言は極めて重視されます。

3 裁判所は専門家の証言を重視すること

裁判所は、医療・建築等の分野において専門家の証言を極めて重視します。裁判官は法律の専門家ですが、他の分野の専門家ではないことが多いです。そのため、法律以外の分野については、専門家の証言は極めて重視されます。

4 録音記録も証拠となること

よく「ICレコーダー等での録音は証拠となりますか」というご質問があります。現場に自分がいる際に、その内容を隠し撮りで録音することは特別に録音が禁止されていない限りは認められます。小沢一郎さんの元秘書の石川知裕さんの裁判では、検事と石川さんの会話内容を石川さんが隠し撮りで録音した記録が証拠として裁判所に提出されました。報道によるとその証拠が重視されたのではないかと思います。石川さんに有利な裁判がなされる確率が高まりました。

5 弁護士は裁判の専門家であること

裁判官・検察官・弁護士になるための司法試験は同一の試験です。同じような環境で勉強してきたため、弁護士は裁判官の頭の中をよく理解することができます。ある特定の証拠があるとどのように有利になるかという点については、裁判の専門家である弁護士が一番よく理解しています。いくら苦労して集めた証拠であっても、効果が低い証拠であれば苦労して集めた意味がありません。裁判を起こす際は事前の証拠集めや準備が勝敗を分けるポイントとなりますので、徹底した事前の準備が重要です。

(文責 大澤一郎)

お問合せ **弁護士法人よつば総合法律事務所**

フリーダイヤル 0120-916-746 info@yotsubasougou.com <http://www.yotsubasougou.jp/>

〒277-0005 千葉県柏市柏1丁目5番10号 水戸屋呑番館ビル4階(マツモトキヨシの向かい)

受付時間:午前9時～午後6時 ※土曜・日曜・祝日 応相談

ニュースレター8月号では大澤のお薦め書籍をご紹介します。

「憂鬱でなければ仕事じゃない」 藤田晋・見城徹著 講談社

藤田晋さんは(株)サイバーエージェントの社長であり、見城徹さんは株式会社幻冬舎の社長です。名前からして憂鬱になりそうな本ですが、実際はとてもやる気ができます。今後ますます成功したいと考えている経営者の皆様や社会人の皆様にはとてもお勧めです。以下、大澤が気に入った部分を一部抜粋します。

・「神は細部に宿る」という建築家の言葉は仕事にもあてはまる。つい見逃してしまうものにこそ事を左右する鍵がある。

・自ら会社を興し、成功した人は、おそらく誰もが小さな約束でもきちんと守っています。いい加減ではないから、会社をそれなりに大きくできたのです。

・結局、仕事とは勝負なのです。勝とうとしなければ勝てるわけがない。プロセスというのは結果論で得られる副産物に過ぎないのです。

・「憂鬱を好む人間などいない。しかし一方で、憂鬱は大きな反発力を生む。それに気付いた時、憂鬱は間違いなく仕事の糧となる。」

・「成功は異常なことなのだ。異常を異常と思わなければ、ついには身を滅ぼしてしまう。勝ったときにこそ冷静になり、ここには次の負けを招く要因が潜んでいると思わねばならない。成功体験は成功した瞬間に捨て去るのが一番美しい。成功は一通過点であり、すぐゼロに戻るのが賢明なのだ」

・以前、ユニクロの柳井正社長が、ユニクロを批判する特集が載っている週刊誌でこんなことをおっしゃっていた。「ビジネスは辛くて苦しい。しかし、それは正しいということだ。」まったくその通りだと思う。ユニクロたたきの特集と同じ号でインタビューを受けること自体がすごいと思うが、この言葉は深く重い。

・仕事をする上で努力は大切ですが、とりわけ大事なのは当たった後。そこでのがんばりが将来を大きく左右することになるのですから。

なんとなく夏に暑苦しい感じの本かもしれませんが、普通の兼業主婦(助産師です)の私の妻もこの本はすごくよいと言っていました。(最初、表紙を見てなんとなく私のことを「しょうもないものを買ってきて・・・」というような目で見ていましたが・・・)

「暑苦しいとき」に「暑苦しい感じの本」を読むのもよいのではないかと思います。

(文責) 大澤一郎

お問合せ **弁護士法人よつば総合法律事務所**

フリーダイヤル 0120-916-746 info@yotsubasougou.com <http://www.yotsubasougou.jp/>

〒277-0005 千葉県柏市柏1丁目5番10号 水戸屋呑番館ビル4階(マツモトキヨシの向かい)

受付時間:午前9時～午後6時 ※土曜・日曜・祝日 応相談



～ 第3回 顧問先訪問レポート ～



今回は千葉県鎌ヶ谷市にある『株式会社サユリインターナショナル』に訪問させていただきました。

話し手：(株)サユリインターナショナル 代表取締役
サマン・プリヤンカラ様
インタビュアー：よつば総合法律事務所 所長 大澤

Q、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

早速ですが、御社は自動車の輸出販売を手がける会社ですね。日本で起業されたきっかけは何ですか？

日本で働いていた時、スリランカの友人から日本車を送って欲しいと言われたことがきっかけです。その後、自動車の評判が口コミで広まり、日本車人気が高まりました。1998年に会社を設立し、現在では月300～500台を世界に向けて輸出しています。

Q、会社が急成長を遂げた成功の鍵は何でしょう？

全ての業務を一人で行っていた起業当初から一貫しているのは、自分の目で確かめた品質の良いものだけを輸出するという事です。輸出先の港に並んだ自動車はまさに会社の顔とも言えます。ある時、会社のホームページのURLを記載したステッカーを自動車に貼り輸出したところ



それが宣伝効果となり注文が一気に増えました。高い品質を維持するため、自社敷地内にヤードを設けたり、下請業者を使わず自社で管理したりと経費はかかりますが、顧客から得られる信頼はそれ以上に大きなものだと考えています。口コミや評判は良くも悪くも伝わりますが、どの国でもこれらが顧客の信頼を左右する重要な鍵となるのです。現在、ケニア、ジャマイカ、スリランカ、トリニダード・トバゴ、ニュージーランド、パプアニューギニア、ボツワナ、モーリシャスを始めとする世界60カ国に向けて輸出しています。

Q、素晴らしいですね！仕事において他に心がけていることはありますか？



最も努力していることは、アフターケアと危機管理対策です。自動車を輸出したらそれで終わりというわけではなく、お客様からの問い合わせや修理等は全て責任を持って対応しています。日本から離れた国々に輸出された自動車については、輸出国との中継地点としてアフリカの場合はモーリシャスに支店を置き、現地の事情に精通したスタッフがすぐに対応できる環境を整えています。

お問合せ 弁護士法人よつば総合法律事務所

フリーダイヤル 0120-916-746 info@yotsubasougou.com <http://www.yotsubasougou.jp/>

〒277-0005 千葉県柏市柏1丁目5番10号 水戸屋舎番館ビル4階(マツモトキヨシの向かい)

受付時間:午前9時～午後6時 ※土曜・日曜・祝日 応相談



輸出先が多いことは会社の大きな強みです。各国には政治・文化・風土等それぞれの事情があり、たとえばある国で政権が交代して日本からの輸入を全く受け付けなくなるような事態が起こったとしても、輸出相手に偏りが無いことで、安定した受注を受けることが可能となるのです。



Q, 社長の経営能力には頭が下がります。仕事に対して大変熱心な社長ですが、スリランカの観光名誉局長も兼任されているんですね。

2009年に任命されました。主に、在日スリランカ大使館にて、スリランカの観光業に貢献するべく活動しています。

(大澤)スリランカの観光の見所は何ですか？

やはり、世界遺産でしょうか。シーギリヤロック城壁や、オランダ植民地時代の建物の数々が世界遺産として登録されています。また、スリランカは島国ですので、海も見所の一つです。最近では、珊瑚が美しいスリランカの海を目当てに、サーフィンやダイビングのために訪れる若い観光客も増えています。会社の名前である「サユリ」とは、スリランカの公用語で「海」の意味なんです。

(大澤)そうなんですか！他に、観光名誉局長として取り組んでいることはありますか？

日本では、スリランカの自然と文化を紹介するフリーペーパー「スリランカ通信」の発刊に協力しています。スリランカでは、子供向けの絵本や歴史物の単行本の出版、新聞の発行、ドラマ製作にも携わっています。

実は、私が監修したドラマがスリランカの国营放送で連続ドラマとして放映され、テレビ部門で数々の賞を獲得しました（右写真は受賞したトロフィー）。



Q, え！？ドラマですか！？すごいですね。

出演している俳優は皆スリランカで一流の役者なんです。脚本家には時間をかけて、流行に流されない本当に良い台本を書いてもらいました。スリランカの伝統的な音楽をBGMとして使っていて、とても切ないストーリーに仕上がっています。「Arungal」というタイトルでYou tubeでも閲覧できますので、是非観てください！！

日本語が大変ご堪能でいらっしゃる社長より、仕事・スリランカについてたくさん勉強させていただきました。お忙しい中、貴重なお話を本当にありがとうございました。



お問合せ **弁護士法人よつば総合法律事務所**

フリーダイヤル 0120-916-746 info@yotsubasougou.com <http://www.yotsubasougou.jp/>

〒277-0005 千葉県柏市柏1丁目5番10号 水戸屋番館ビル4階(マツモトキヨシの向かい)

受付時間:午前9時～午後6時 ※土曜・日曜・祝日 応相談